

JPIC NEWSLETTER

通巻 254 号

2024 年 4 月 12 日

第30期 JPIC読書アドバイザー養成講座 104名が修了、修了生は2,900名に

第30期JPIC読書アドバイザー養成講座の最終スクーリングを3月9日（土）、10日（日）に開催。4年ぶりにすべての講義を会場で開催した今期は104名（29期補講生8名含む）のJPIC読書アドバイザーが誕生、これにより修了生は約2,900名となりました。

各分野の第一人者の講義のほか、修了生から活動と現状報告を聞き、この話を参考にその後「こんな修了生になりたい」というテーマでディスカッションをおこないました。受講生にとってこのグループディスカッションは今後地元・職場でJPIC読書アドバイザーとして活動する場を考える機会となったとの声がありました。今年の修了記念講演は、姜 尚中さん（東京大学名誉教授）に「読書-人生の謎解き」をテーマに講演いただきました。



修了記念講演に登壇した姜 尚中さん

修了式では、JPIC理事長 近藤敏貴より「「読書活動の拡充」と「読書環境の整備」に向け、温かく力強い仲間として、今後、一緒に活動できることを期待しています」とエールが送られました。また日本書店商業組合連合会会長 矢幡秀治さんからは、「これから頑張ろうという晴れやかな気持ちを忘れずに、JPIC読書アドバイザーとしてご活躍ください」というお祝いの言葉をいただきました。

第31期は8月より開講予定。読書推進の現場で活躍する人材育成にさらに力を入れてまいります。今後ともご注目してください。

「マンガ感想文コンクール2023」 受賞者決定

3月16日（土）15時より出版クラブホール（千代田区）にて「マンガ感想文コンクール2023」授賞式を執りおこないました。このコンクールは、日本の文化ともいえる優れたマンガ作品に触れ感想文を書くことが、子どもたちの学習や読書を楽しむための入り口に繋がると、コミック出版社12社と関連1社の協賛を受け実施しています。2023年度は全国の小中高校生より12,022通の感想文の応募がありました。1次審査（審査員：JPIC読書アドバイザー）、2次審査（同：マンガ編集者）を経て1月25日（木）に有識者による最終審査がおこなわれ、小中高部門計5作品のグランプリと15の優秀賞作品が決定、また団体賞は、応募数、作品内容を考慮して10校を選定しました。

授賞式では、最終審査員の甲斐雄一郎さん（文教大学教授）、藤本由香里さん（明治大学教授）、町田守弘さん（早稲田大学名誉教授）、吉村和真さん（京都精華大学教授）、中野博之さん（集英社 週刊少年ジャンプ編集長）、萩原綾乃さん（小学館 ちゃお編集長）から講評が述べられました。グランプリ受賞者からは「大好きな作品で、このような賞を受賞できうれしかった」と喜びのコメントがありました。受賞作品はJPICのWEBサイトにてご覧いただけます。

授賞式に先立って、前日の3月15日（金）には受賞者を対象にした集英社・小学館のコミック編集部見学ツアーもおこないました。参加した子どもたちは編集長の話に驚き、作家の生原稿に目を輝かせていました。

このコンクールは2024年度も、コミック出版社および出版関連事業者の協力を得てさらに規模拡大・充実し開催します。



授賞式の様子

第135回理事会および 第86回評議員会を開催

去る3月29日（金）に第135回理事会および第86回評議員会を出版クラブビルおよびオンライン（Zoom）にて開催し、以下の議案について審議いただきました。

【第1号議案】

2023年度事業報告案並びに収支見通し

【第2号議案】

2024年度事業計画並びに収支予算案

【報告事項】

- ・BOOK MEETS NEXT2024開催骨子について
- ・書店議連の動きについて
- ・次年度の新たな取り組みについて
- ・その他

各会ともに、すべての議案は満場一致にて承認されました。

JRAC × 『この本読んで！』 第5回「親子で読んでほしい絵本大賞」 贈賞式開催

第5回「親子で読んでほしい絵本大賞」贈賞式が3月19日（火）に、出版クラブホールで開催されました（主催：JPIC読書アドバイザークラブ〔JRAC〕／協力：JPIC）。

この賞は、『この本読んで！』2023年春号～冬号で紹介した400冊の絵本から、事前に選考委員が12作品を厳選し、さらに全国のJRAC会員の投票によって大賞を決定します。

大賞は『ねことことり』（文：たてのひろし、絵：なかの真実／世界文化社）、赤ちゃん絵本に贈られるベビー賞は、『はんぶんこ』（作：杜 今日子／福音館書店）に決定。贈賞式には、たてのさん、なかのさん、杜さんをお迎えして、JRAC代表幹事の洞本昌哉さんから賞状を贈呈。JRACメンバーによる受賞作の朗読も披露されました。受賞者挨拶では「親子で読んでほしい」というテーマで選ばれたことに対する受賞の喜びや、作品制作のエピソードなどが述べられました。



受賞者の3名（後列中央にたてのさん、左になかのさん、右に杜さん）とJRAC運営メンバー。

横浜市で読書イベントを開催

3月9日（土）に横浜市役所アトリウムおよび市民協働スペースにて「よこはま読書パーク」が開催されました（主催：横浜市教育委員会／協力：有隣堂／受託事業者：JPIC）。会場では14の出版社・書店が絵本や図鑑を中心に子ども向けの本を販売。また、イベントスペースでは人気キャラクターとの撮影会やミニサイズの黒板に絵を描くワークショップ、JPIC読書アドバイザーによるおはなし会がおこなわれ、大いににぎわいました。ほかにも、読む以外のさまざまな形で読書を楽しむことができる図書の展示や、横浜市中央図書館によるAIを活用した蔵書検索の体験、移動図書館「はまかぜ号」による図書の貸出などいろいろな企画が催され、来場者は思い思いに本と触れ合いました。詳細は「横浜市 読書活動推進 ネットワークフォーラム」をご覧ください。

3月のJPIC ONLINE

3月7日、14日、21日（木）に連続講座「日本のかくれた国宝仏～東北・九州・そして東京！～」を開催。講師の村松哲文さん（駒澤大学仏教学部教授）が国宝仏像を紹介するとともに、当時の都から離れた地方に優れた仏像が残っている理由について解説しました。

16日（土）午前は、毎月恒例のJPIC絵本アワー「こんにちは、絵本たち！」を開催。2020年10月からこれまでに39回、土曜日に絵本にまつわる情報を届けてきた絵本アワーは、より楽しんでいただけるようプログラムを再検討し、5月から隔月の開催となります。

同日午後は『この本読んで！』ONLINEとして、「子どもと本を楽しもう！絵本をつかったワークショップ」を開催。スギヤマカナヨさん（絵本作家）が子どもたちと楽しい時間を過ごすためのヒントを、絵本を使って実演しながら紹介しました。スギヤマさんは「図書館や学校で実践してほしい」と話し、これに対し参加者からは「さっそく準備をして子どもたちと楽しみたい」など、意欲的なメッセージが寄せられました。

2023年度は40回のイベントを開催。約7,800名が参加くださいました。2024年度も場所や時間を問わず参加ができる、オンラインの特性を活かした読書活動を推進してまいります。

NEWSについてのお問合せや詳細資料をご希望の方は、事務局までお申し付け下さい。

JPIC HPアドレス：<https://www.jplic.or.jp>
賛助会員様のイベント情報を発信します！